

PLANTEC GROUP

NEWSLETTER 2015 vol.6



Creating the environment that managements are aspiring

経営が目指す環境をつくる

なぜ今「ビジネス・デザイン・アーキテクト」なのか？

企業における経営戦略は、国内外を問わずますますその精度と環境変化への対応が求められ、同時にビジネスの全体像から見た戦略性と整合性が問われています。その要求に対応していくために、プロジェクト戦略のインテグレート機能を強化すると共に、今後の更なる成長と専門性の強化を果たすべく、「空間・施設のアーキテクト」から「ビジネス・デザイン・アーキテクト」の立場での展開が大切となります。また、現地現物の調査から、企画、設計、実施（施工）そして運用に至るまでの一貫したサービスモデルだからこそコミットできる、「コンサルティング」に留まらないビジネス・デザイン・アーキテクトを目指し、ビジネス環境づくりのスペシャリストとして企業の複雑なビジネス課題にソリューションで応えます。

経営が目指すビジネス環境の創造を机上のコンサルティングに止めることなく、現地現物によるソリューションとお客様との協働により “実現させること”それが私たちの追求するビジネス・デザイン・アーキテクトです。

1 ビジョンを形にする

グランドデザイン



ブランディング



周年事業・イベント

2 コトで考える、モノづくり

潜在マーケット開拓



プロダクトデザイン



プロモーション/展示会



施設運用管理

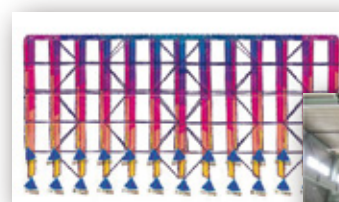


サプライチェーンマネジメント



オペレーションデザイン

動的解析による耐震診断



耐震化診断



事故再現ムービー

3 生産 × 物流 × ファシリティの融合により新たな価値を創造する

4 絶対に事業を止めない

1 ビジョンを形にする

経営のビジョンから
ビジネスを
デザインする

ランドデザイン、オペレーションデザイン、アイデンティティデザイン
を関連付け、企業のリブランディングまでを統合的にデザインする
ことで、経営のビジネスビジョンを具現化する。

経営層の意思決定がスピーディーに企業活動に反映される
よう、プロジェクトマネジメント体制の構築を支援。また
企業の中長期計画に基く施設のランドデザインから、生産
効率化、物流マネジメント、BPO（ビジネスプロセスアウト
ソーシング）、PMO（プロジェクトマネジメントオフィス）
などのオペレーションデザイン、そしてホスピタリティ、
ブランディング、プロモーション支援などのアイデンティティ
デザインに至るまで、一貫通貫した全域のデザインを行う
ことで、ビジネス環境の変化に適応した、経営層が目指す
経営ビジョンの具現化を支援する。



超高齢化社会における医療環境を変える

急速に高齢化が進む中、医療の在り方が、現在の急性期医療
中心の対応から、介護やリハビリ、在宅を重視した自立支援型の医
療サービスへとシフトしつつある。藤田保健衛生大学グループは
急性期医療を中核としながら、地域包括ケアシステムやリハビリ
を中心とした、社会復帰に力点を置いた医療サービスの革新に
先駆けて取り組んでいる。

その新たな 医療と教育の環境整備の具体化を、ソフト・ハード
両面で支援。



内観
藤田学園

経営の目指すビジョンをファシリティ展開において 具体化

羽生にある本社（Ai-City）から、海外のグローバル拠点構築
まで、曙ブレーキの「ものづくり」「ひとつづくり」に関わる
環境創りを支援。経営ビジョンを具体的にファシリティデザイン
に反映させるべく、ものづくり環境の整備、業務効率改善、
コミュニケーションの向上、意思決定のスピードアップなど
様々な効果の具現化を協働。



研修センター

オフィス内観

曙ブレーキ工業

グローバル企業への転換を軸とした リブランディング・戦略的周年事業

グローバル進出をきっかけに、企業イメージや商品PRの方法
など、これまであまり意識してこなかった BtoB コミュニケー
ションを根本的に見直し、戦略的にリブランディングを行いた
いという企業が増えている。国内外展示会や web サイト
商品カタログなどあらゆる顧客接点をリデザインし、
75 周年の企業アイデンティティを表現したブランドブックでは、
BtoB 広告賞の最高賞(経済産業大臣賞)を受賞。



展示ブースデザイン(日、中、独、韓)

ブランドブック
経済産業大臣賞 受賞

三木ブーリー

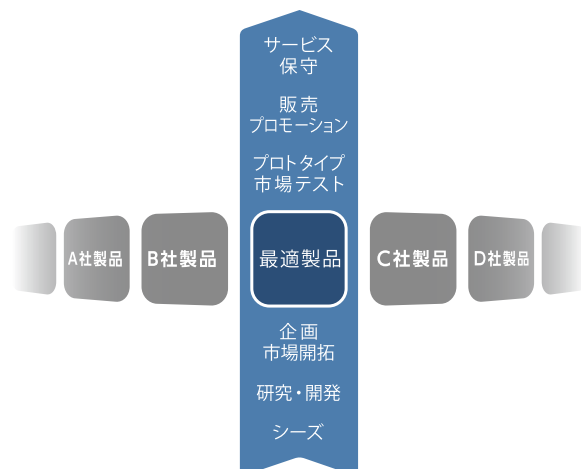
2 コトで考える、モノづくり

商品開発における
新規軸
をデザインする

市場に提供された時点での「製品優位性」だけの競争から脱却。シーズ・ニーズ探索から潜在マーケットでのサービスモデル、新規市場開拓のプロモーションに至るまで、製品開発から市場展開への一貫した「トータルバリューによる優位性」をデザインする。

製品開発の新たなアプローチとして、初期段階から製品の潜在的な市場ポテンシャルを調査開拓すると共に、「モノ」としての製品力向上のために、ユーザー視点を加えた製品の使われ方を想定した製品開発の支援を行う。また、製品の市場展開に必要なサービスモデルの構築、ブランディング、商流の開拓、具体的な施工方法、市場での商品プロモーション、企画展示、各種イベントセミナーなど、多角的なアプローチで「コト」づくりを戦略的に組立て、初期の市場展開における製品の市場競争力を構築。このような製品開発から市場展開までの一貫したプロセスをデザインすることにより、製品供給としてのメーカーからトータルバリューを提供するサービスプロバイダーへの展開を支援する。

進歩型コトづくり



「2Kg/m²以下」の超軽量かつ耐震化を実現した新商品

平成26年の国土交通省告示改正により天井の耐震基準が定められ、建築内部空間の安全性向上が一部で義務化された。その中で「2Kg/m²以下」という天井補強方法が明文化されていない超軽量天井においても耐震仕様を一般化した新工法を開発支援。（日本の地震リスクの低減に貢献）

※詳細については巻末の広告頁をご覧ください。



超軽量天井 施工例



天井詳細
かるてん®

ロボットがつなげるリハビリの新しい未来づくり、産官学の各種支援業務を通して発信

今後超高齢化が進む中、自立的社会復帰を促すリハビリロボットの開発に期待が寄せられている。一方で、薬事法や臨床対応、価格問題等など解決すべき課題も多く、まだまだ上市レベルのロボット普及は遅れている。また、リハビリロボット開発におけるメーカー、行政、ユーザー間でのコミュニケーション不足も否めない。医療現場の知見から、これらのプレイヤー間のコーディネーションを支援し、ロボットが支える新たな未来の創造への一翼を担うことを目指す。



展覧会



ポスター

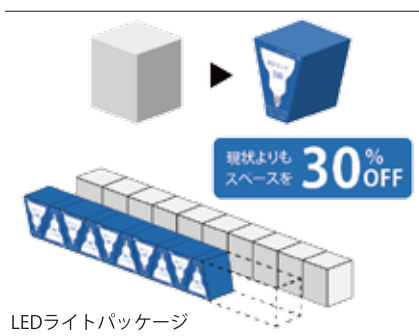
第51回日本リハビリテーション医学会 学術集会での機器展示

“目からウロコ”赤くない消火器、パッケージデザインで物流コストを2/3！

様々な分野で“目からウロコ”のパッケージデザインを開発。一般常識としてその外装は赤であると認識されている消火器を、ホテルのエントランスホールにも違和感なく置ける赤くない消火器を開発し、機能と高質な空間の両立を実現。LEDのパッケージ形状のデザインを四角から台形に変えることで収容量を30%増やし（物流費30%減）、かつプロダクトとして目立つデザインで差別化、コストとインパクトの優位性の両立を実現。



消火器



LEDライトパッケージ

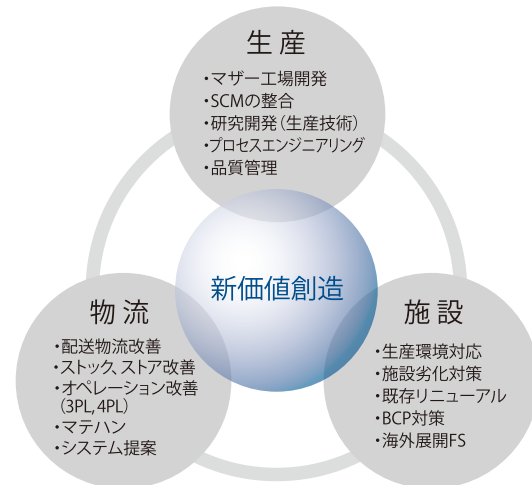
プロダクトデザイン

3 生産 × 物流 × ファシリティの融合により新たな価値を創造する

融合された 生産環境を デザインする

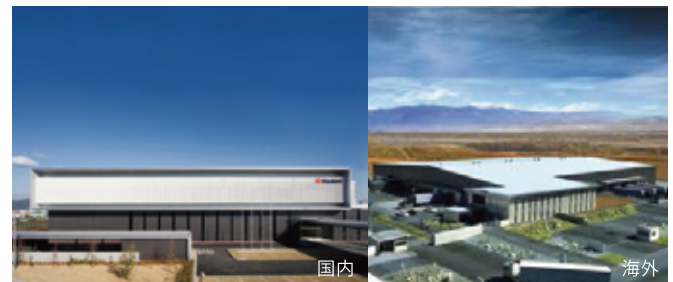
現場で生産、物流、施設の部門が分かれて活動することにより部分最適が優先され、経営視点での全体最適の構想が描かれていない結果に対し、横断したソリューションとしてそれぞれのファクターがインテグレートされたトータルデザインを提供する。

各部門の専門性が高く複雑な関係になっていることにより、フィージビリティスタディが困難になっている。そのため、設計前の段階で生産、物流、施設における各々の運営状態のファクターを具体的に把握し、部門単位での分析をするとともに総合的な分析を行うことが重要となっている。これらの事前分析によって、生産環境の全体像を明らかにすることができ、経営視点での全体最適化された先進的な生産環境のトータルなデザインを実現することができる。こうして融合された生産環境デザインの事例をモデル化することで、国内外の他拠点へ水平展開することを可能にする。



既存工場の改廃を含め、 生産・物流・ファシリティを全体整合

既に3拠点間を半製品が頻繁に往来する現状を4拠点化する増産対応を契機に、新工場計画を 生産・物流・ファシリティの各セクションで徹底的な改善スタディを実施。全体計画の最適化から、第4拠点をマザー工場として再計画し、その後メキシコへモデル工場として展開。



村上開明堂

グローバル拠点再編に、経済ブロック圏に適応した サプライチェーンを最適化

他事業部の生産拠点や物流施設を重複して持つ企業の、複雑なグローバルサプライチェーンを調査把握。グローバルSCMには、TPR、EU、NAFTAといったFTAの経済ブロックの広がりへの対応が重要で、その為のFTA活用を提案。各国の法務チェックを含めた市場動向も考慮し、拠点統廃合のシミュレーションを実施。世界のボーダレス経済化に対応すべきグローバルサプライチェーンの評価を行う。新規進出候補地の選定も、事業戦略の選択肢としてこの評価を応用。グローバル物流体制のあるべき姿を提案することによって、拠点再編プロジェクトの構築をサポート。



経済ブロック圏

サプライチェーンマネジメント

物流を止めない一気通貫の生産体制を構築

成形・塗装・組立の工程を1つの工場に集約し、各生産工程を軸にした平面計画を構築。生産を止めないよう工事を2期に分けてライン移管を行う計画を実施。それにより、物流を止めない一気通貫の生産の流れを作り「最小の在庫」「最短の物流」従業員の集約化により経営効率向上を実現。外箱を工場内に持ち込まない箱レスによる「身のみライン」、生産工程の同期化による「在庫レス」、さらにAGV、自動箱詰め、自動組付け、「フォークリフトレス」など自動化による「省人化」を図るなど、生産環境の改善にチャレンジした。



外観

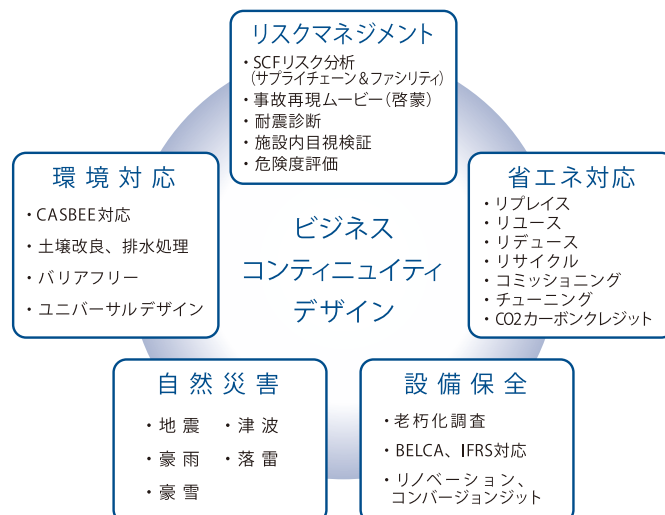
丸和電子化学

4 絶対に事業をとめない

事業継続 をデザインする

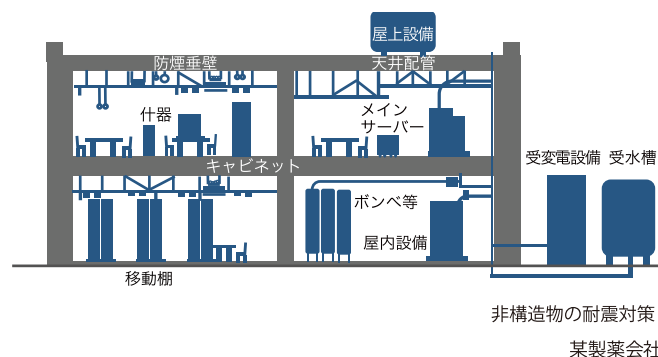
事業の持続性に対するリスクを軽減した環境を構築するとともに、施設の安心・安全を確保する。施設運営の停止などによる経営リスクを最小限にしたビジネス・コンティニュイティをデザインする。

施設のリスクマネジメント、環境対応、省エネルギー化、施設保全、自然災害対策など、施設全体の各ファクターが事業持続性に及ぼすリスクの可能性を想定し、かつそれが軽減された環境の確保に取り組むことで、信頼できる、安心・安全な施設環境を構築する。同時に事業運営のサステナビリティの視点から、万が一中断してしまった事業活動をどのようにして復元するか、またその復元するための準備を事前に整えておくにはどうすれば良いかなど、施設のリスク対応のポテンシャルの最大化をデザインし、被害の最少化、被害からの回復の最短化を図る。



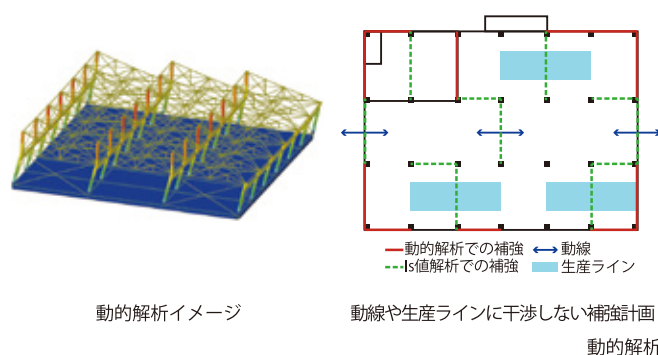
非構造物の徹底的耐震対策により、 事業継続可能な施設を実現

国内の製薬会社において事業を継続させながら、国内6拠点の生産・研究施設の耐震対策工事を3年かけて実施。製薬会社としての社会的使命、パンデミック対応も考慮し、網羅的リスク評価分析を行って、対象エリアや設備の重要度により施策を分け、効率的な投資とした。地震被害の大半は建物自体ではなく、建物以外の天井、機器、ユーティリティなどのため、非構造物の徹底的な耐震対策を行った。また、クリーンルームなど各特殊条件の施設を個別の耐震補強方法で計画し、生産現場の稼働状況に合わせた施工を実施。



動的解析による耐震補強を行い、 補強工事と生産ダメージを最小化

常に生産を行っている鉄骨造の大スパン施設。通常の静的解析による診断結果では、生産に影響が及ぶ耐震補強が必要であった。それに対し動的解析を行うことで、最少の補強量かつ最適な補強位置を導き出し、生産への影響を最小にする耐震補強を実現させた。Is 値 0.6 での通常の静的解析補強案に対して、動的解析による補強案は Is 値 0.3 相当の補強量だが、耐震改修促進法における評定も取得。結果は、工事コスト及び生産ダメージの対策費を大幅に抑え、当初の BCP 対策事業コストを 1/3 まで圧縮。



CGによるリアルな事故再現ムービーから 再発防止を推進

近年熟練工の減少や現場の老朽化などにより、労働災害が増加傾向にある。事故調査報告書だけでは理解されにくい事故の要因や改善点を考え学ぶ為に、実写では表現できない事故発生時の状況が分かるCGを用いて細部まで表現。リアリティを肌で感じることで、事故防止を推進。



すべての建物に安全を。テイジンの想いです。

導入実績：富士スピードウェイの中心に位置するレストランORIZURU。最大200席の広い店内の天井に「かるてん®」が採用されました。

日本初! 超軽量、耐震設計の「かるてん®」使用天井

吊り天井を大幅に軽量化できる新しい天井材「かるてん®」を使った、今までにない「グリッド工法」を開発しました。

「2kg/m²以下」という超軽量ながら改正建築基準法に準拠した耐震化も実現。学校、体育館、公共施設、空港、大型店舗、オフィス空間など、これからの日本に必要とされる、大規模建築構造物の安全性、建築効率、を大きく向上させる、新しいソリューションです。



超軽量天井材
「かるてん®」4つの特徴

軽い

一般的な石膏ボードと比べ、重量は約1/10と超軽量! 割れにくいので、剥離・落下しにくく、オフィス空間の安全性を確保します。

快適

軽量でありながら、過ごしやすく快適な空間を創出する、断熱性能と吸音効果を併せもつポリエステル製の天井材です。

耐震

2kg/m²以下という超軽量天井ながら、天井の耐震性を定めた、新しい建築基準法に準拠。軽さと耐震化を両立させた日本初の商品です。

柔軟

軽くて柔らかいため割れや破損がおきにくく、地震の揺れや劣化による危険が少ないこれからの建築物に必須の建材です。

安心・快適な空間をつくる
新素材天井材

かるてん®

PLANTEC

<http://www.plantec-associates.co.jp/>